



# 群馬県立小児医療センターだより

平成23年7月

No. 022

発行

群馬県立小児医療センター 地域医療連携室

〒377-8577 渋川市北橋町下箱田779番地

Tel ● 0279-52-3551(代表) Tel ● 0279-52-4000(予約専用)

Tel ● 0279-52-7171(地域医療連携室) Fax ● 0279-52-7333(地域医療連携室)

URL ● <http://www.gcmc.pref.gunma.jp>



新規採用看護職員

## 元気な看護部が 子どもとご家族を支えます

看護部長 下田 あい子

小児医療センターの看護部では、「成長発達期にある子どもの特性を理解し、専門職として温かいこころと柔軟な思考を持ち、確実な看護ケアで、最適な療養環境の提供」に努めております。

ここ2年のPICU・NICUの増床、GCUの整備等ICUベッドの増加に伴い、急性期患者や重症患者が増加し、高度な技術と安全で安楽な看護ケアが求められているとともに、看護職員の急増による人材育成が重要な課題となっています。

なお、4月に採用された看護師・助産師は35名(正規職員)で、看護職員の定数は211名に増加しました。

昨年度より、専従の教育担当師長を配置して、新人看護職員研修制度やクリニカルラダーを取り入れた看護職員教育を継続的に行い、専門職としてのキャリアを積み

重ねています。今年度は、認定看護師も新たに2名誕生し(新生児集中ケア、小児救急、感染管理、皮膚・排泄ケア認定看護師 合計5名)それぞれの専門領域で活躍しています。日本小児総合医療施設協議会看護部長会「専門領域看護師ネットワーク」にも参加し、全国の小児専門病院間で情報を共有し、課題の解決に向けた取り組みも行い、看護の質の向上に貢献しています。

また、在宅療養患者の支援にも力を入れており、開業医や訪問看護ステーションの皆様と連携し、在宅療養への移行及び在宅療養生活が継続できる体制を整備したいと考えております。

病院における療養環境では、3名の実務研修生を含めた7名の保育士の一般病棟への配置、クリニクラウン(臨床道化師)の定期訪問、季節行事の開催を職員も一生懸命行うことなどにより、子どもとご家族のこころに少しの余裕ができ、やさしい時間が流れ出したと感じています。

## 新規採用看護職員の近況報告

### 第一病棟

#### 吉田 麗菜

入職してみて、命を預かる責任の重さを感じています。個々の患者さんに合わせて臨機応変に対応する事が求められ、悪戦苦闘の日々です。しかし、先輩方が分かるまで何度も教えて下さるおかげで、一步一步成長出来ている気がします。患者さんの笑顔を励みに、これからも自分のペースで一つずつ着実に学んでいきたいです。

### 第二病棟

#### 清水 ゆかり

小児医療センターに就職し3カ月がたち、やっと職場の雰囲気慣れ自らコミュニケーションをとりにいくことができてきました。指導のもと仕事を覚え、全力で仕事に取り組み、またライフスタイルとの切り替えができてきたところです。分からないところは分からないままにしないで、不安が無くなるまで指導者に見守ってもらいながら日々学び、精一杯仕事に励んでいる毎日です。

### 第三病棟

#### 星野 友里

一昨年、臨床看護実習でお世話になった病棟に看護師として勤務しています。私にとって臨床の看護を学んだ原点です。日々、看護師としてひとつひとつのケアに責任の重さを実感しています。先輩方に優しく、時には厳しく丁寧に指導をいただきながら3ヶ月が過ぎました。これからも患者さんやご家族によりよい看護ケアが提供できるよう精進していきたいと思っています。

### NICU

#### 銭谷 あゆみ

NICUに配属されて3ヶ月。まだまだわからないこと、不慣れなこともたくさんありますが、小さな赤ちゃんたちが何を訴えているのか、常に考えながら看護できたらと思っています。急性期の緊張感のある職場ですが、赤ちゃんの表情やしぐさに癒されながら働いています。これからも日々の学びを大切に頑張っていきたいと思っています。

### GCU

#### 石倉 夏姫

新生児は、言葉で伝えることができないため、観察や変化を見逃さないよう、先輩方に指導していただき日々の業務に取り組んでいます。就職して間もないですが、定期的に勉強会を開いてくださったり、プリセプターさんが丁寧に教えてくださり充実した毎日です。患者様やご家族の方へ安心感を与え、支えになれる看護師を目指して頑張ります。



### 産科病棟

#### 渡部 恵理菜

日々、お母さんの頑張る姿や赤ちゃんの生命力の強さにパワーもらっています。まだまだ未熟ですが、お母さんの気持ちに寄り添うことを大切に頑張っていきたいと思っています。ご指導よろしくお願ひ致します。

### PICU

#### 諏佐 和也

群馬で生まれ育ち、関西地方の大学卒業後、当センターで新卒としてのスタートを切りました。日々の勉強、業務、患者様やご家族の皆様と関わる中で、小児看護の楽しさを実感しております。小児医療チームの一員として努力していきますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

### 手術室

#### 吉川 直樹

小児科や手術室での勤務経験がなく、何をすることも戸惑ってしまい失敗も多く気持ちが沈んでしまいそうな時に、プリセプターさんや先輩スタッフの方々が優しく声をかけてくださり、とても励みになりました。忙しい業務の中で時間を作り丁寧に指導して頂けているので、とても恵まれた環境で働いていることを実感しています。



新採研修

## 第104回小児医療センター講話会



講師 康井 制洋 病院長

平成23年5月20日に当院研修会議室において、第104回小児医療センター講話会を開催しました。

講師には、神奈川県立こども医療センター病院長の康井先生をお招きし、「小児病院の未来 神奈川県立こども医療センターの取り組み」をテーマに、当院にとってとても参考になる講話をいただきました。





群馬県立病院として、心臓血管センター・がんセンターの後を受け、小児医療センターから自分を含む4人(医師1名、看護師2名、事務1名)で平成23年3月23日から26日まで宮城県南三陸町に災害医療支援に行ってきました。私たちが支援に入った南三陸町は、宮城県北東部に位置し太平洋に面する町で、今回津波の被害が大きかった地域の一つです。

早朝に群馬を出発し東北道自動車道経由での道程でした。町に近づき津波の被害を受けた地域に入ると景色は一変します。津波の爪痕はいとも残酷に生と死の境界を描いて見せます。テレビ・新聞等の報道で目にされていると思いますが、そこに行ってみると筆舌に尽くしがたい凄まじい光景でした。当たり前でつまらない事に文句を言って生きている人生がどれほど幸せか実感しない人は居ないでしょう。

私たちは、南三陸町で最大の避難場所である南三陸町ベイサイドアリーナ(大きな体育館です)に常駐し、随時各避難所等を巡回しました。避難所内部では体育館の通路を中心に、狭い(畳二畳ぐらい)空間を段ボール等で囲って一家族3~4人が寝起きしているような状況でした。自分が行った時期には食事は温かい物も出ている様でしたが、電気・上下水道通じて居らず非常に不便でした。それでもガソリンがあれば、ある程度自由に往き来できるのでしょうが、ガソリンの供給が悪く(自分の見た範囲で



は完全な形で残っているガソリンスタンドが無く、手動で給油していました)、道路の復旧も不完全で夜間の通行はかなり危険でした。電話は携帯電話はdocomoやauが使える所では使えましたが、固定電話は駄目そうでした。例え携帯が通じても電気が不十分な為充電も一苦労で、情報のやり取りも全く持って不十分。どこにどんな患者さんが居るかきちんと把握できないままに、他の避難所に行ってみるとばらばら患者さんが居るという感じでした。

各避難所内で診させて貰ったお子さんはそれほど重症な人は幸い居ませんでしたが、水が無く手洗いも不十分、トイレも不自由(簡易トイレ)なので、いわゆる風邪や胃腸炎などが非常に流行しやすい状態でした。抗インフルエンザ薬も大量に持ち込みましたが、幸いインフルエンザの患者さんは自分たちが行ったところにはおられませんでした。

この原稿を書いている今(6月)でも、被災地で不自由な生活を続けている人は少なくない様ですし、もともとかなり苦しい状態だった東北の医療が更に苦しい状態であるのも間違いなさそうです。震災・津波後苦しい生活の中自ら死を選んだ人もおられるようです。福島県を中心に原子力発電所の問題も予断を許しません。震災・津波後の急性期を過ぎて、こういった形で支援できるのか・するのか私たち一人一人が思考し行動し続ける必要があります。

# 群馬県立小児医療センター 外来診療予定表

(平成23年7月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金	備考
内科	総合内科	午前	丸山 健一	外松 学	大木 健太郎	山田 佳之	加藤 政彦 (第1・3・5週) 丸山 健一 (第2・4週)
		午後	鮫島 希代子	椎原 隆	鮫島 希代子	新井 心	櫻井 伸晴
	神経内科	午前	椎原 隆	清水 信三	渡辺 美緒	澤浦 法子	椎原 隆
		午後	渡辺 美緒		渡辺 美緒 竹澤 伸子 (第3週)		
	循環器科	午前	小林 富男	関 満 (10:00~)	小林 富男 下山 伸哉	下山 伸哉	小林 富男 (午後は14:00~)
		午後			池田 健太郎		
	血液腫瘍科	午後	外松 学 (14:00~)		林 泰秀 朴 明子 (14:00~)	外松 学 (14:00~)	
腎臓内科	午後		丸山 健一		丸山 健一		
アレルギー・感染 免疫・呼吸器科	午前				加藤 政彦 (食物負荷試験)		
	午後	加藤 政彦	山田 佳之 (第2・4週)	加藤 政彦	加藤 政彦	山田 佳之	
外科	一般外科	午前		土岐 文彰		西 明 (第2・4週) (何れも9:00~10:30)	
		午後		鈴木 則夫 山本 英輝 高橋 篤 (第2週) 大竹 紗弥香 (第4週)		鈴木 則夫 西 明 土岐 文彰 (第2・4・5週) 黒岩 美 (第1・3週)	
	心臓血管外科	午前					宮本 隆司 尾崎 晋一
		午後			宮本 隆司 尾崎 晋一		
	形成外科	午前	浜島 昭人 (9:00~10:00初診のみ)			浜島 昭人 (9:00~10:00初診のみ)	
		午後	浜島 昭人 片桐 彩			浜島 昭人 片桐 彩 (何れも14:00~)	
整形外科	午前	富沢 仙一		富沢 仙一			
	午後	(午前:再診、午後:初診)		(午前:再診、午後:初診)			
総合周産期母子 医療センター	新生児科	午後	丸山 憲一 関矢 亜矢子		藤生 徹 井上 文孝 (第1・3・5週) 小泉 亜矢 (第2・4週)	丸山 憲一 井上 貴博	藤生 徹
	産科	午前	川田 亜公子 (初診)	高木 剛 (再診)	京谷 琢治 (再診)		矢木 さやか (再診)
		午後	京谷 琢治 (初診)		矢木 さやか (初診)	川田 亜公子 (再診)	高木 剛 (初診)
母乳外来	午前 午後			助産師			
特殊専門外来	麻酔科	午前		松岡 宏晃		柳澤 晃広	肥塚 恭子
		午後					
	放射線科	午前		畠山 信逸			
		午後					
	遺伝科	午前		鮫島 希代子 (再診)	鮫島 希代子 (再診)		鮫島 希代子 (初診)
	歯科・障害児歯科	午前	木下 樹	木下 樹	木下 樹	木下 樹	木下 樹
		午後	吉野 綾	吉野 綾	吉野 綾	吉野 綾	吉野 綾
	耳鼻咽喉科 ※注2	午後	安岡 義人 (第2・4週) 飯田 英基 (第1週) 何れも15:00~		長井 今日子 (第1・3・5週) 中島 恭子 (第4週) 何れも15:00~		
		眼科	午前			※注3	
小児精神科	午後				成田 秀幸 (第1・3週) 上原 徹 (第2週再診のみ) 何れも13:30~		
内分泌代謝科	午後		山田 思郎 (第5週を除く)				
リハビリテーション	午前					理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	
	午後	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士 富沢 仙一 (リハ外来、13:00~ 14:00)	
心理判定	午前	心理判定員	心理判定員				
	午後	(第5週を除く)					
予防接種	午後					(第2・4週、13:00~ 15:00)	

注1：外来診療の開始時間は、注記のあるものを除き、午前は9:00、午後は13:00から

注2：耳鼻咽喉科につきましては、都合により当分の間、新規紹介の受付ができませんのでご了承願います。

注3：眼科外来は当分の間、休診しております。